

令和5年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
チームビルディング研修

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

青少年教育活動や学校での学級経営などで仲間づくりに興味のある方が、講義・演習を通して活動の目的を達成するための基本理念を理解し、様々な仲間づくりゲームを体験することで、日常で活かせる実践力を身に付ける。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和5年10月21日（土）日帰り

(2) 参加者

① 募集対象・人数

青少年教育指導者・教職員・学生・教育委員会関係者・その他仲間づくりに興味のある方

24人

② 参加者

19人

(3) 講師

宇江 賢 氏（吉備中央町立津賀小学校校長）

(4) 企画・運営のポイント

① 教育委員会へ直接広報を行い、教育委員会から各学校へ広報を行うことで学校関係者だけでなく、教育委員会関係者への広報も行った。また、中四国近畿の青少年教育施設への広報も行った。

② 新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染拡大防止のため、手指消毒や部屋の換気による環境面でも対策を講じることで、参加者が安心して研修を受けられる体制を整えた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

10月21日（土）	
9:30	受付
10:00	開会式
10:30	KAP（吉備アドベンチャープログラム）の体験
12:00	昼食
13:00	KAP（吉備アドベンチャープログラム）の体験 所内にあるPA施設（ローエレメント）等の体験
15:00	閉会式 施設見学（希望者のみ）

## (2) 活動状況



【KAPの体験①】



【KAPの体験②】



【所内にあるPA施設の体験①】



【所内にあるPA施設の体験②】

## 4. 成果・課題

### (1) 満足度

満足：95%      やや満足：5%

### (2) 参加者の声

- ① 自分のクラスや部活動でも使えるような体験ができて良かった。初対面の人とこんなに短時間で仲良くなれると思っていなくて驚いた。
- ② 気づきを促す指導者の発問や出された意見をどう集約させ、どうチームづくりを生かせるのか自身が体験し学べた。

### (3) 成果

- ① 教育委員会関係者への広報や中四国近畿の青少年教育施設への広報など、広報範囲を広めたことで参加人数の確保に繋がった。
- ② 日帰りで実施することで、参加者への負担を減らし、参加に対する敷居を低くすることができた。
- ③ 他の青少年教育施設からの参加者のために施設見学の時間を設けたことで、吉備の施設設備をより知っていただく機会となった。

### (4) 今後の課題

参加者のニーズに合わせた研修形態（宿泊を伴うなど）にしていくことが必要となる。

担当：企画指導専門職付 竹井 楓夏